

事業所名 _____

保安業務技術的能力算定書

1 保安業務資格者の算定

A：保安業務区分ごとの一般消費者等の数 **B**：月間実働日数 **C**：年間実働日数

D：調査員数 **E**：充てん作業数

保安業務区分		算定式	算定値	備考
1	供給開始時 点検・調査	$A \times \frac{1}{20,000}$		
2	容器交換時等 供給設備点検	$A \times \frac{1}{100} \times \frac{1}{B} \times D \times E$		0未満の場合は 0とする
3	定期供給設 備点検及び4 定期消費設 備調査	$A \times \frac{1}{20} \times \frac{1}{C} \times \frac{1}{4}$		補助員を伴って点検 及び調査を行う場合 は、20を三分の四倍 することができる。
	※いずれか 該当する 式で計算 すること	$A \times \frac{1}{30} \times \frac{1}{C} \times \frac{1}{4} \times E$		補助員を伴って点検 を行う場合は、30を 三分の四倍すること ができる。
		$A \times \frac{1}{25} \times \frac{1}{C} \times \frac{1}{4}$		補助員を伴って調査 を行う場合は、25を 三分の四倍すること ができる。
5	周知 ※上段か下段のいずれ か該当する式で計算 すること	$A \times \frac{1}{40,000}$ ※2 容器交換時点検・3 定期供給設 備点検・4 定期消費設備調査のい ずれかを行う場合		
		$A \times \frac{1}{20,000}$ ※上段の場合以外		
6	緊急時対応	$A \times \frac{1}{20,000}$		
7	緊急時連絡 ※上段か下段のいずれ か該当する式で計算 すること	$A \times \frac{1}{20,000}$ ※消費者戸数が 20,000 戸以下の場 合		
		$1 + \frac{A - 20,000}{80,000}$ ※消費者戸数が 20,000 戸 を超える場合		
合計				
必要人数			名	合計値の小数点以下 を切り上げて記入す ること

2 保安業務用機器の算定

A : 保安業務区分ごとの一般消費者等の数
 B : 月間実働日数
 C : 年間実働日数

(1) 保安業務用機器の算定値

保安業務区分		算定式	算定値	備考
1	供給開始時点検・調査	$\frac{A}{20,000} \times 1$	イ	
2	容器交換時等供給設備点検	$\frac{A}{100} \times \frac{1}{B}$	ロ	
3	定期供給設備点検及び4定期消費設備調査	3と4の両方 $\frac{A}{20} \times \frac{1}{C} \times \frac{1}{4}$	ハ	補助員を伴って点検及び調査を行う場合は、20及び25を三分の四倍することができる。
		$\frac{A}{25} \times \frac{1}{C} \times \frac{1}{4}$	ニ	
※いずれか該当する式で計算すること	3のみ	$\frac{A}{30} \times \frac{1}{C} \times \frac{1}{4}$	ホ	補助員を伴って点検を行う場合は、30を三分の四倍することができる。
	4のみ	$\frac{A}{25} \times \frac{1}{C} \times \frac{1}{4}$	ヘ	補助員を伴って調査を行う場合は、25を三分の四倍することができる。
6	緊急時対応	$\frac{A}{20,000} \times 1$	ト	

(2) 保安業務用機器数

機器名	イ	ロ	ハ	ニ	ホ	ヘ	ト	算定値合計	必要数
自記圧力計又はマノメータ		/		/					
ガス検知器		/		/					
漏えい検知液				/					
緊急工具類				/					
一酸化炭素測定器		/	/	/					
ボーリングバー		/		/					

※必要数欄は、各保安業務用機器の算定値合計の小数点以下を切り上げて記入すること。